

【授業改善に向けての参考例「書くこと（推敲・交流）」】

ねらい

- 『鳥獣戯画』を読む」で読み取ったことを基に、絵の魅力を伝える鑑賞文の書き方について交流しながら、モデル文をよりよく推敲することができる。

学習指導要領における内容

- 〔第5・6学年〕 B 書くこと ※C 読むこと(1)イ・ウとの関連を図る。
- (1) オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

授業アイデア例（2教材を効果的に活用して単元を構成した例を掲載）

『鳥獣戯画』を読む」で読み取った推敲のポイントを基に、鑑賞文①（不十分なモデル文）をよりよい鑑賞文に書きかえよう。

主な学習内容・活動

- 単元の概要をつかむ
 - 鑑賞文①のよさ・課題を見付ける。
 - K J法で意見を整理する。
 - 単元の目標・学習計画を立てる。
- 『鳥獣戯画』を読む」で推敲のポイントをつかむ
 - 教材文の要旨をとらえる。
 - 教材文で推敲のポイント（筆者の説明の工夫）を拾い出す。
 - K J法を用いて、推敲のポイント（筆者の説明の工夫）を整理する。
 - ポスターセッションで意見交流会をする。
- 推敲のポイントを生かして、鑑賞文①を推敲する
 - 推敲のポイントで生かしたいものを3つ選択する。
 - 推敲のポイントを踏まえて、鑑賞文①を推敲する。
- 推敲した鑑賞文の交流をする
 - 小グループ→中グループで魅力的な鑑賞文を書いた代表者を選び、紹介してもらいそれらのよさを交流する。

主な発問・指示

- 鑑賞文①(※資料1)は、どこを工夫できますか。それを付箋に書いて、グループでまとめましょう。
- 高畑さんは、鳥獣戯画が人類の宝だということをどのように説明していますか。それを1つの付箋に1つ書きましょう。
- グループで似たカードごとに分類して、小見出しをつけます。たくさんの中から3つを選び、紹介しましょう。
- 友達との交流の中で納得した推敲のポイントを使って、鑑賞文①を推敲しましょう。
- 魅力的な鑑賞文を発表する代表者と推薦者を決めなさい。推薦者は、その鑑賞文のどこが素晴らしいのかを紹介しましょう。

留意点

- ・ K J法で比較・分類したり、ラベリングしたりする経験をさせる。(※資料2)
- ・ 筆者の説明の工夫を付箋(資料3)に書かせ、導入で行ったK J法を使って、推敲のポイントを整理(※資料4)し、ポスターセッションで交流させる。(※資料5・6)
- ・ 推敲のポイントを明確に意識するようにワークシートの中に明記させる。(※資料7)
- ・ 代表者は鑑賞文で絵の魅力を、推薦者には鑑賞文の形式的な魅力を紹介させる。

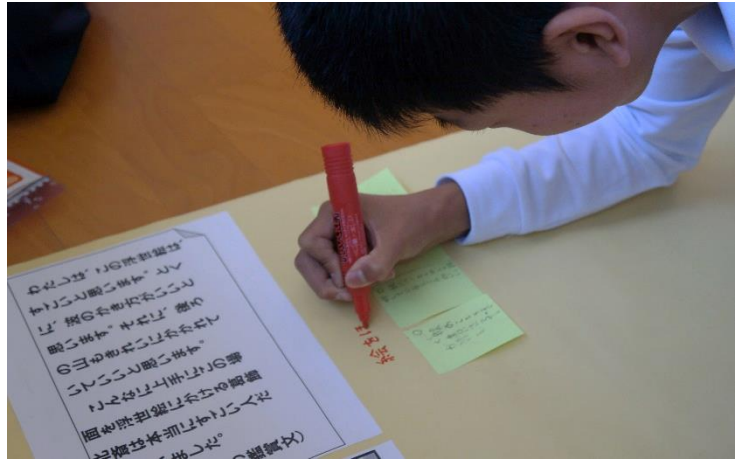
単元を通した言語活動：探り出した推敲のポイントを基によりよい鑑賞文を書こう

不十分なモデル文をよりよくしたいという目的の下、『鳥獣戯画』を読む」から推敲のポイント（説明の工夫）を探り、さらにK J法やポスターセッションなどで友達と考えの交流を通して理解を深め、そこで得た推敲のポイントを基によりよい鑑賞文へと推敲させる言語活動である。

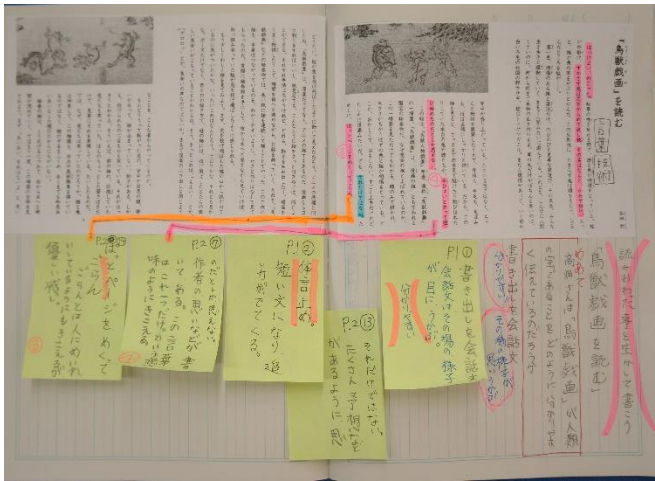
【資料1】鑑賞文①(モデル文)

わたしは、この浮世絵は、すごい
と思います。とくに、波のかき方が
いいと思います。それに、後ろの山
もきれいかかれていていいと思い
ます。
こんなに上手にこの場面を浮世絵
にかける葛飾北斎は本当にすごい人
だと思いました。

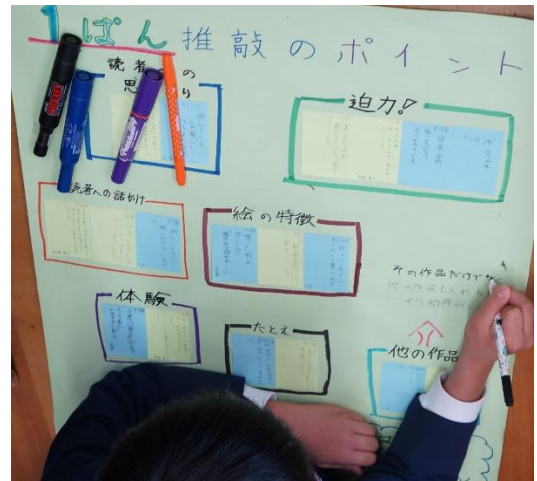
【資料2】KJ法で鑑賞文①に対する意見をまとめる子ども



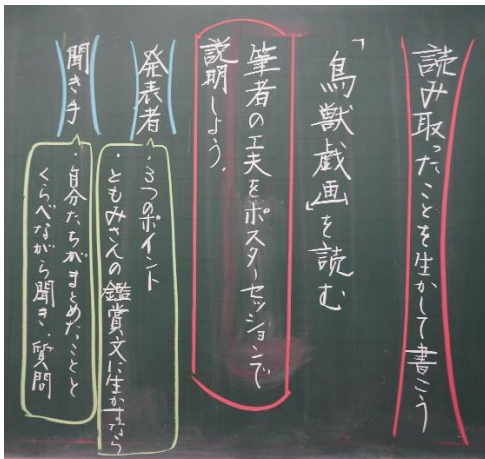
【資料3】説明の工夫を付箋にまとめた子どものノート



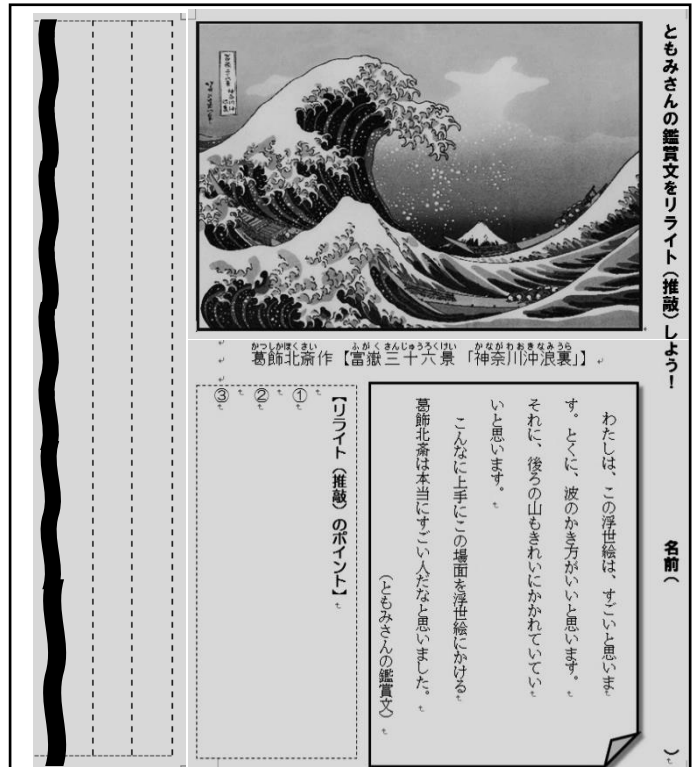
【資料4】KJ法でまとめたポスター



【資料5】交流のポイント



【資料7】推敲のポイントを明確にさせるワーク



【資料6】ポスターセッション交流会

